

ARRI 多様な光学系を揃えた新しい LED

点光源 Orbiter の量産開始と顧客向け出荷を発表

- Orbiter 製品版の量産を開始
- 最初の顧客向け出荷が進行中
- Orbiter は多様なアクセサリや光学系をラインナップ
- Orbiter は新しいライティングオペレーションシステム LiOS を搭載

(2020年10月6日；ドイツ ミュンヘンにて)

ARRI は、最新の LED 照明 Orbiter（オービター）の量産・出荷を開始しました。2019年9月の発売以来、プロトタイプ機を使ってさまざまなフィールドテストを行い、ユーザ皆様から Orbiter とその機能に関して多くの貴重なフィードバックをいただきました。これらの情報を活かし、遂に Orbiter の量産が開始され、最初の製品版ユニットが出荷されました。

注：ARRI は現在、Orbiter の日本の認証取得手続きを進めております。日本向け製品の出荷は 10 月末~11 月初旬を予定しております。



Orbiter は、ドイツ・ステファンスキルヘンにある ARRI の照明工場で製造されています。これまで SkyPanel の生産を通じて、地域のパートナー企業との密接なネットワークを構築し、ノウハウを確立。このネットワークは生産対応のみならず、ARRI グループの品質へのこだわりを理解し、Orbiter の生産に不可欠なものとなっています。

また Orbiter の組立と評価のために全く新しい生産コンセプトが開発され、拡張された包括的なテスト環境が整いました。安定的な品質を保証する自動化システム、経験豊富な従業員、その必要不可欠な柔軟性は、ARRI の継続的な製品開発と製造を可能にしています。

Orbiter のコアエレメントである新しい画期的なライトエンジン SPECTRA に加え、幅広いアクセサリも同時に出荷が開始されており、Orbiter をよりパワフルで多才なツールにしています。複数の光学系を簡単に交換できるクイックライティングマウント (QLM) は、Orbiter を色々な種類の灯体に変化させます。またライティングオペレーションシステム LiOS も搭載されています。このシステムは、わかりやすいインターフェースでさまざまな機能が利用可能なだけでなく、将来のニーズや要求に対応すべく、発展し続けていきます。



Orbiter には、3 年間の保証延長サービス（電子部品の場合は 5 年間、スペアパーツの場合は 10 年間保証）が付いており、製品カラーは、ARRI ブルー/シルバーVer、ブラック Ver があります。

Orbiter に関する詳細は、下記ウェブサイトをご覧ください。

www.arri.com/orbiter



ARRI 社について

Arnold & Richter Cine Technik (ARRI)は映画産業における国際企業であり、ヨーロッパ、北・南アメリカ、アジア、オーストラリアに支社を置き、全世界の従業員数は約 1,400 人となります。1917 年に本社をドイツ・ミュンヘンに創立、2017 年に 100 周年を迎えました。

ARRI グループは、カメラシステム、照明、メディア、レンタルの 4 種類のビジネスを展開しています。映画産業におけるカメラおよび照明の先駆的な設計・製造を行い、世界へ販売、サービスを展開しています。また、プロフェッショナルプロダクションに対するポストプロダクション、機材レンタル、カメラ・照明・グリップパッケージを販売しています。

ARRI は、その技術と業界への貢献に対し、映画芸術科学アカデミーより、これまで 19 回の科学技術賞を授賞しました。

<ナックイメージテクノロジー制作営業部について>

映像制作に関わるプロフェッショナルなユーザが求めるカメラやライトなどの高品質な映像制作機器を幅広く取り扱っております。放送・映画・コマーシャル・音楽ライブ・プロモーションビデオ向けに世界中で支持される映像制作用の一流製品を取り揃えてユーザのニーズにお応えします。

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社ナックイメージテクノロジー 制作営業部

TEL : 03-3796-7901 E-mail : seisaku@camnac.co.jp

Website : <https://www.nacinc.jp>